

リミニストリート、*Rimini Protect™ Advanced Hypervisor Security* を発表

VMware、Nutanix、その他すべてのLinuxベースのハイパーバイザー向けに、

Vali Cyber®の技術を活用し、ランサムウェアやその他の脆弱性から保護

Rimini Protect Advanced Hypervisor Security は、業界をリードする *Rimini Support™ for VMware* ソリューションに組み込まれており、VMware の年間保守を大幅に節約し、既存の VMware ライセンスのサポート可能な寿命を何年にもわたって延長します。

(米国ラスベガス – 2025年1月22日) – エンタープライズソフトウェアのサポート、イノベーションソリューションをエンドツーエンドで提供するグローバル企業であり、Oracle、SAP、VMware ソフトウェアに対する第三者保守サービスの主要なプロバイダーである [Rimini Street, Inc.](#) (Nasdaq: RMNI) は、Vali Cyber® AI/ML セキュリティ技術を搭載した独自のソリューションである *Rimini Protect™ Advanced Hypervisor Security (AHS)* の一般提供を発表しました。*Rimini Protect AHS* ソリューションは、米軍の VMware 配備などミッションクリティカルなハイパーバイザーインフラの保護に使われている革新的な機能を活用しています。

Rimini Protect AHS ソリューションは、Vali Cyber の技術と Rimini Street の専門的なハードニング、インストール、およびマネージドサービスを組み合わせたものです。このソリューションは、安全でロックダウンされたハイパーバイザー環境を 24 時間 365 日体制で構築し、企業がハイパーバイザーのリスクをこれまで市場で入手できなかったレベルで管理することを可能にします。

【ハイパーバイザーの 익스プロイトは壊滅的な影響を与える可能性がある】

ランサムウェアによる攻撃は、2024年12月の時点で過去最高を記録しています¹。被害者数は、2024年の第3四半期から第4四半期にかけて43%増加し、2023年から2024年にかけては、前年同期比で47%増加しています。ランサムウェアの支払い額も、2023年初頭の中央値19万9000ドルから、2024年6月には、150万ドルに急増しています²。

ハイパーバイザーの 익스プロイトは、壊滅的で、単一のハイパーバイザー上で稼働しているすべての仮想マシンを危険にさらす可能性があります。ハイパーバイザーは、仮想マシンモニターとも呼ばれ、仮想マシンを作成、実行、管理するソフトウェアです。1つのハイパーバイザーで、数十台の仮想マシンを管理することが可能で³、重要なビジネス・ワークフローやプロセスの処理に不可欠です。 익스プロイトによってハイパーバイザーが侵害されると、そのホスト上のすべての仮想マシンとそのデータにアクセスできるようになります。CrowdStrike は、最近のブログ投稿で、このリスクについて下記のように指摘しています。

「セキュリティツールの欠如、ESXi インタフェースの適切なネットワークセグメンテーションの欠如、および ESXi の ITW 脆弱性が、標的を増やしやすき環境を作り出していることを、多くの脅威アクターが認識しています。」⁴

【VMware ESXi と、あらゆる Linux ベースのハイパーバイザーに対する画期的な保護】

Rimini Protect AHS は、VMware ESXi、Nutanix、XenServer、Citrix Hypervisor、Proxmox、Red Hat Enterprise Virtualization (RHEV)、そしてあらゆる Linux ベースの KVM ハイパーバイザーを保護し、以下のような主要かつユニークな機能により、セキュリティ侵害から保護します。

- **AI/ML テクノロジー**： AI/ML 行動ベースの検出技術を使用し、ファイルおよびインメモリマルウェアを高い有効性で検出するランタイム保護ソリューション。人手を介することなくファイル被害を自動的に修復し、ビジネスに回復力をもたらします。独自のアルゴリズムにより、従来の攻撃とインメモリ攻撃の両方をリアルタイムで識別し、阻止するように設計されています。
- **MFA**： 多要素認証 (MFA) は、接続およびエアギャップ環境において盗まれる可能性のあるクレデンシャルを保護し、アラートを提供して不正アクセスの試みを防止するのに役立つソリューションです。クレデンシャルの盗難は、多くの場合、フィッシングキャンペーンや 不十分なクレデンシャル管理といった非倫理的な手法で入手され、ハイパーバイザーとその基礎となるシステムのセキュリティ侵害の記録的な増加を引き起こしています。
- **プロセス制御**： コンテナ化されたアプリケーションに使用される仮想マシンやコンテナなどの指定された環境からプロセスが抜け出すのを防ぐだけでなく、環境寄生型攻撃を防止します。この保護により、エクスプロイトが基盤となるハイパーバイザーに「干渉」することを防ぎ、ファイルシステム全体が暗号化またはエクスポートされることを防ぎます。

【Rimini Protect AHS が安心を提供します】

Rimini Protect AHS for VMware は、世界中にいる数十名のセキュリティスペシャリストから構成される、リミニストリートのグローバルセキュリティサービスチームによってサポートされており、24 時間 365 日対応しています。

Rimini Protect™および Rimini Watch™ソリューションの CISO、SVP 兼 GM である Gabe Dimeglio は、次のように述べています。

「脅威の状況が刻々と変化し、攻撃手法も進化する中、当社は、お客様のセキュリティニーズに対応するため、AI/ML 行動アルゴリズムなどの最新技術による高度なセキュリティソリューションのイノベーションを継続しています。私たちリミニストリートは、世界中の複雑で大規模なミッションクリティカルな高セキュリティの政府機関や軍事組織の業務遂行に不可欠なセキュリティソリューションを提供してきた実績を活かし、Rimini Protect Advanced Hypervisor Security でお客様に安心を提供します。私たちは、常に攻撃の脅威にさらされているお客様のシステムとかけがえのないデータを保護することに大きな誇りを持っています。」

Rimini Protect Advanced Hypervisor Security を通じて組織のセキュリティ体制を強化する方法の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。また、リミニストリートの業界をリードする VMware サポートの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

[¹Reliaquest：2024年第4四半期のランサムウェアとサイバー恐喝](#)

[²ラウンドアップ：2024年のランサムウェアに関するトップ記事](#)

[³ESXiホストの最大値](#)

[⁴ハイパーバイザーのジャックポット（第3回）：アンチウイルス・サポートの欠如が逆襲の扉を開く](#)

リミニストリートについて

ラッセル 2000® カンパニーであるリミニストリート（Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)）は、エンドツーエンドのエンタープライズソフトウェアサポート、イノベーションソリューションのグローバルプロバイダーであり、Oracle、SAP、VMware のソフトウェア製品に対する第三者保守サービスにおいて業界をリードする企業でもあります。リミニストリートは、エンタープライズアプリケーション、データベース、テクノロジーソフトウェアの実行、管理、サポート、カスタマイズ、設定、接続、保護、監視、最適化を行う統合ソリューションの包括的なポートフォリオを提供しています。Fortune Global 100、Fortune 500、中堅企業、公共機関、政府系組織などの数千件の顧客が、リミニストリートを、業務遂行に必要不可欠な、信頼できる実績あるエンタープライズソフトウェアソリューションプロバイダーとして採用し、その結果、より優れた運用成果を達成し、数十億ドルのコスト削減を実現し、AI やその他のイノベーション投資に資金を振り向けています。

詳細は、<https://www.riministreet.com>、をご覧ください。また X、Facebook、Instagram、LinkedIn でのフォローもお待ちしております。

将来予測に関する記述

本書に含まれる一部の記述は、歴史的事実ではなく、米国の 1995 年私募証券訴訟改革法のセーフハーバー規定における将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、一般に、「予測する」、「信じる」、「続ける」、「可能性がある」、「現時点では」、「推定する」、「期待する」、「将来」、「意図する」、「場合がある」、「かもしれない」、「見通し」、「計画する」、「起こり得る」、「あり得る」、「予想する」、「推定する」、「思われる」、「求める」、「はずである」、「予定する」、「だろう」などの単語やフレーズまたは表現が使用されています。これらの将来予想に関する記述は、将来の出来事、将来の機会、世界的な拡大およびその他の成長構想に関する取り組み、ならびにかかる構想に対する当社の投資に関する当社の期待に関する記述を含みますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定および経営陣の現在の予想に基づくものであり、実際の業績を予測するものではなく、また、歴史的事実を記述するものでもありません。これらの記述は、リミニストリーの事業に関する多くのリスクおよび不確実性の影響を受け、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性には、次のもの（但し、これらに限定されません。）が挙げられます：係属中の訴訟または新たな訴訟（未決の上訴申立の処分および新たな請求を含みます。）の防御における不利な展開およびこれに関連するコスト。当社の特定の事業活動に対する差止命令に従うために負担する追加費用ならびに将来の期間の収益およびコストに対する影響。マクロ経済傾向の影響および外貨為替の変動などを含むリミニストリーの事業環境の変化、ならびにリミニストリートが事業を行う業界やリミニストリーの顧客が事業を行う業界に影響を与える金融、経済、規制、政治面の一般的な状況。エンタープライズソフトウェア管理およびサポートの環境の進化、ならびに顧客を惹きつけ保持し、顧客基盤へさらに浸透する能力。ソフトウェアサポートサービス業界における厳しい競争。拡大した当社の製品およびサービスならびに当社が導入を見込む製品およびサービスの顧客による受け入れ。収益を拡大し、売上原価を管理し、収益を正確に予測する当社の能力。当社の人員削減と関連する組織再編費用による、最近の業績への影響と今後の業績への影響の見通し。当社の獲得可能な最大市場規模の推定、および他のプロバイダーを使用した場合の顧客の節約額の予想。当社の販売サイクルにおける時期の変動。顧客維持率に関連するリスク（顧客維持率を正確に

予測する能力を含みます。)。当社経営陣の1人または複数のメンバーの終任。有能な追加の人材（営業担当を含みます。）を惹きつけて保持し、キーパーソンを保持する当社の能力。当社の事業計画、将来の成長能力、収益性を達成し維持する能力。オラクル・ピープルソフト製品向けサービスの提供終了計画。当社の株価の変動性とそれに伴う証券取引所の上場要件の遵守。有利な条件で株式またはデットファイナンスによる資金調達を行う必要性および能力、ならびに当社の成長戦略への投資の増加に資するために事業からキャッシュフローを生み出す能力。グローバルオペレーションに関するリスク。当社のITシステムに対する不正アクセスおよびその他のサイバーセキュリティ上の脅威を防ぎ、当社の従業員および顧客の機密情報を保護し、プライバシー規制を遵守する当社の能力。財務報告に係る有効な内部統制システムを維持する当社の能力。当社のブランドおよび知的財産を維持、保護および強化する能力。法律および規制の変更（税法の改正や当社が取るべき税務ポジションに不利な結果が生じた場合、適切な税金引当金の計上不足、当社の営業損失から利益を得る能力を含みます。)。環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する事項の影響。当社の信用枠の継続的な債務返済義務および当社の事業に関する財務・業務上のコベナンツならびに SOFR または他の金利ベンチマークへの移行による不確実性を含む関連金利リスク。当社の流動性要件を満たすための現金および現金同等物の充足度。当社の株式買戻プログラムに基づく買戻の量および時期（もしあれば）ならびにかかるプログラムを通じて株主価値を高める当社の能力。リミニストリートの特許証券の長期価値に対する不確実性。当社または当社の顧客の事業を阻害する大惨事。2024年10月30日に提出されたリミニストリートの Form 10-Q による四半期報告書において「リスク要因」という見出しで説明され、リミニストリートの将来の Form 10-K による年次報告書、Form 10-Q による四半期報告書、Form 8-K による臨時報告書、およびリミニストリートの米国証券取引委員会へのその他の提出物によって随時更新されるもの。また、将来予想に関する記述は、本書の日付時点における、将来の事象および見解に関するリミニストリートの期待、計画または予測を述べたものです。リミニストリートは、その後の事象および展開により、リミニストリートの評価が変化することを予想しています。しかしながら、リミニストリートは、将来のある時点で、これらの将来予想に関する記述を更新することを選択する可能性があります。リミニストリートは、法令により要求される場合を除き、そのような更新を行う義務を負うことを明確に否認します。これらの将来予想に関する記述は、本書の日付以降のいかなる時点においても、リミニストリートの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

© 2025 Rimini Street, Inc. 無断複写・転載を禁じます。”Rimini Street “は、米国およびその他の国における Rimini Street, Inc.の登録商標であり、Rimini Street、Rimini Street のロゴおよびそれらの組み合わせ、ならびに TM で示されたその他のマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。その他の商標は、各所有者に帰属し、特に明記されない限り、リミニストリートは、かかる商標権者または本書で言及されるその他の企業との提携、承認、または関連性を主張するものではありません。